

The Art and Life of Shigeko Kubota



久保田成子展

開館時間＝9:00-17:00(観覧券の販売は16:30まで) 休館日＝月曜日(5月3日は開館)

観覧料＝当日券：一般1,000円(800円) 大・高校生800円(600円) 中学生以下は無料

※()は有料20名様以上の団体料金です。 ※障害者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料です。受付で手帳をご提示ください。 ※ご来館の際にはマスクの着用にご協力をお願いします。

主催＝新潟県立近代美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会、TeNYテレビ新潟 協賛＝ライオン、DNP大日本印刷、損保ジャパン 協力＝新潟県立美術館友の会、長岡市立中央図書館

後援＝新潟市、長岡市、長岡新聞社、NCT、エフエムラジオ新潟、FMながおか80.7、新潟日米協会、新潟日独協会

助成＝テラ・アメリカ美術基金(Terra Foundation for American Art)、文部科学省令和2年度文化庁優れた現代美術の国際発信促進事業、

公益財団法人ポーラ美術振興財団、公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団、公益財団法人野村財団

THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART

新潟県立近代美術館

新潟県長岡市千秋3丁目278-14 ☎0258-28-4111

URL <https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/> Twitter @niigata_kinbi

Shigeko Kubota Portrait © Tom Haar, 1972.

Courtesy of Tom Haar and Shigeko Kubota Video Art Foundation.

Viva Video!

久保田成子展

The Art and Life of Shigeko Kubota

新潟に生まれ、ニューヨークを拠点に活躍したビデオ・アートのパイオニア、久保田成子（1937-2015）。作家の没後初となる本展は、日本では約30年ぶりの個展となります。東京教育大学（現・筑波大学）で彫刻を学んだ久保田は、1960年代前半の東京で「グループ音楽」や「ハイレッド・センター」といった同世代の前衛芸術家たちの仕事に触発され、さらなる可能性を切り開くべく渡米します。ニューヨークでは、世界的に展開した前衛芸術家集団「フルクサス」に参加するなど表現の幅を広げました。1970年代初頭にはパートナーであるビデオ・アーティストのナムジュン・パイク（1932-2006）を通じてビデオカメラを手に入れ、初めて映像作品を手掛けます。これを機に、映像と彫刻を組み合わせた「ビデオ彫刻」の制作を始め、ドクメンタやヴェネチア・ビエンナーレといった数々の国際美術展に招待されるなど、このジャンルの先駆的な存在として国際的に評価されました。ビデオというメディアの黎明期に、世界を舞台に自らの芸術を展開する一人の女性作家として、何を考え、どのように表現を追求したのか。本展では、現代美術の父とも称されるマルセル・デュシャンを主題とした代表作「デュシャンピアナ」シリーズをはじめ、ビデオ彫刻、映像作品、それらのためのスケッチやアーカイヴ資料などにより、久保田の仕事を展覧します。

【関連イベント】

■スペシャルトークイベント

日時：5月2日（日）14:00-15:30

ゲスト：鳥敦彦氏（金沢21世紀美術館長）、吉原悠博氏（美術家、写真館主）

会場：当館講堂 定員：35名 ＊要事前申し込み、聴講無料（要観覧券）

■美術鑑賞講座

「映像美術の誕生」

日時：4月17日（土）14:00-15:30 担当：藤田裕彦（当館学芸課長）

「新潟から世界へ ヴィデオ・アーティスト 久保田成子」

日時：5月15日（土）14:00-15:30 担当：濱田真由美（当館主任学芸員）

会場：当館講堂 定員：各回35名 ＊要事前申し込み、聴講無料

■このほか、国際シンポジウム、上映会、ギャラリートーク等を開催予定。

＊各イベントのお申し込みは、お電話またはメールにて受け付けます。

TEL: 0258-28-4111 Email: ngt503040@pref.niigata.lg.jp

＊新型コロナウイルス感染症の状況により、開催内容に変更が生じる場合もございます。

＊最新の情報は当館ウェブサイトでご確認ください。

【同時開催】

■コレクション展 2020年度第4期 1月5日（火）～4月4日（日）

■コレクション展 2021年度第1期 4月13日（火）～6月13日（日）

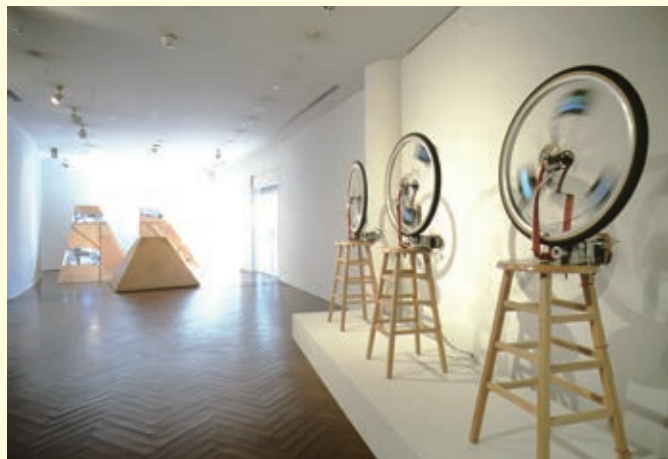
展示室1：POP ARTをめぐる旅／展示室2：時をかける美術／展示室3：ほっこりするアート

【次回の展覧会】

■よみがえる正倉院宝物 7月3日（土）～8月29日（日）＊予定

【新潟県立万代島美術館（新潟市）の展覧会】 TEL: 025-290-6655

■芳年 激動の時代を生きた鬼才浮世絵師 3月20日（土・祝）～5月5日（水・祝）



1



2



3



4



5

1 《デュシャンピアナ：自転車の車輪1、2、3》と《三つの山》の展示風景（原美術館、1992年） 撮影：内田芳孝

2 《デュシャンピアナ：階段を降りる裸体》1976年 Photo by Peter Moore

3 《メタ・マルセル：意（花）》（部分）1983年 Photo by Peter Moore

4 《ブローン・ダイアリー：ソーホー・ソープ／雨の被害》より 1985年 Courtesy of Electronic Arts Intermix (EAI)

5 《ナイアガラの滝1》（部分）1985年 Photo by Peter Moore

All Images Courtesy of Shigeko Kubota Video Art Foundation; © Estate of Shigeko Kubota.



【交通案内】

〔新幹線・在来線〕JR長岡駅大手口下車

〔バス〕長岡駅大手口8番線：中央環状線

「くるりん」内回り「県立近代美術館」下車

（乗車約15分）すぐ／長岡駅大手口2番

線：センタープラザ・日赤病院方面行「日

赤病院前」下車（乗車約15分）から徒歩

5分

〔車〕開越自動車道：長岡I.C.から約10

分／北陸自動車道：長岡北S.I.C.から約

10分

THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART
新潟県立近代美術館

新潟県長岡市千秋3丁目278-14 ☎0258-28-4111